科目名	病態治療論Ⅳ	講師	非常勤講師
履修時期	1年　後期	単位数	1
		時間	30

＜科目設定理由＞

病態とは、疾患の原因である病的な状態あるいはその発生機序をいう。一般には「病気」」と表現され、人体の正常性が器質的または機能的に破綻した状態とされる。これに対し治療とは、人体にもともと備わっている治癒力を助けるものであり、患者の病態を改善し健康を回復するための医師による行為を指す。

看護者が対象の自然治癒力を引き出し、回復過程を支援するための働きかけを行うには、患者に出現している症状や徴候を的確かつ詳細に観察し、疾患や治療が患者の身体的・精神的・社会的側面におよぼす影響を捉えなくてはならない。よって患者に合った看護を実践するためには病態と治療についての理解は不可欠といえる。そこで、疾患の種類を組織・器官の系統別に分け、病態・検査・治療に関する知識の獲得をねらいとして科目を設定する。

ここでは『病態治療学Ⅳ』として、血液・造血器疾患/腎疾患/泌尿器・男性生殖器疾患/免疫・アレルギー疾患および感染症の病態・検査・治療について理解する。

学習目標

①血液・造血器疾患の病態生理・検査・処置・治療の概要と、それらが生体に及ぼす影響が理解できる。
②腎疾患の病態生理・検査・処置・治療の概要と、それらが生体に及ぼす影響が理解できる。
③泌尿器・男性生殖器疾患の病態生理・検査・処置・治療の概要と、それらが生体に及ぼす影響が理解できる。
④免疫・アレルギー疾患の病態生理・検査・処置・治療の概要と、それらが生体に及ぼす影響が理解できる。

学習内容

【血液・造血器】…8時間

1. 主要症状と病態生理
   ①貧血
   ②出血傾向
   ③発熱
   ④リンパ節腫脹・脾腫
2. 主たる疾患の病態生理・症状・検査・処置・治療
   ①鉄欠乏性貧血
   ②溶血性貧血
   ③再生不良性貧血
   ④白血病
   ⑤悪性リンパ腫
   ⑥多発性骨髄腫
   ⑦出血性疾患－紫斑病・血友病・DIC

【腎】…10時間

1. 主要症状と病態生理
   ①浮腫
   ②尿毒症
   ③酸塩基平衡異常
   ④高血圧
2. 主たる疾患の病態生理・症状・検査・処置・治療
   ①腎不全・尿毒症
   ②ネフローゼ症候群
   ③腎炎
   ④腎硬化症
   ⑤腎がん

【泌尿器・男性生殖器】…6時間

1. 主要症状と病態生理
   ①尿の異常－血尿・タンパク尿・膿尿・乳び尿・多尿・無尿・尿閉

	②畜尿異常・尿失禁・排尿異常 ③勃起不全 2. 主たる疾患の病態生理・症状・検査・処置・治療 ①尿管結石 ②膀胱炎 ③前立腺肥大症 ④膀胱がん ⑤前立腺がん **【免疫・アレルギー・膠原病】**…4時間 1. 主要症状と病態生理 ①アレルギー ②皮膚炎 ③アナフィラキシー ④関節痛・関節炎 ⑤レイノー現象 ⑥発熱 2. 主たる疾患の病態生理・症状・検査・処置・治療 ①アレルギー ②全身性エリテマトーデス ③多発筋炎・皮膚筋炎 ④ベーチェット病 終講試験
授業形態	講義・グループワーク
評価方法および評価の観点	筆記試験
テキスト	系統看護学講座　成人看護学④「血液・造血器」、成人看護学⑧「腎・泌尿器」、成人看護学⑪「アレルギー・膠原病・感染症」 医学書院
参考資料・図書	授業資料がある場合は、適宜印刷して配布する。
履修上の留意事項・受講条件	複数の講師で担当するので出席時間等は自己管理し欠席等のないように授業に臨むこと。 特に解剖生理学の知識と繋げて理解するために、予習・復習を欠かさず行うこと。